学校番号	３０３６

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学特講	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学A」「数学B」「数学C」（数研出版）						
副教材等	「教科書傍用　サクシード数学Ⅱ・B・C(ベクトル)」（数研出版） 「スタンダード数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C(ベクトル)」（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・ノートおよび裏紙等の計算用紙を用意してください。計算用紙は思いついたことを書いたり、考えを整理したりするのに用いてください。
・まずは計算力（数式を正確に変形する力）をつけましょう。１問あたりにかかる時間が短くなれば短い時間でたくさん学習ができるようになります。
・グローバルリーダーを目指すべく基礎をしっかり固め、基礎に基づいて考える習慣を身につけましょう。
・わからないことはその日のうちに解決するようにしましょう。わからないことを残すと次に習うこともわからなくなります。

2　学習の到達目標

・数学全般についての基礎的な知識や技能を再確認する。
・事象を数学的に考察、分析し、表現する能力を培う。
・数学のよさを認識し、それらを活用する態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	・数学を活用して事象を論理的に考察することができる。 ・事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察することができる。 ・数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。	・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりしている。

上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の３段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の３段階）及び評定（１～５の５段階）にまとめます。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価の方法		
				知 (a)	思 (b)	主 (c)
1学期	統計的な推測	期待値と分散	a:確率分布・統計的な推測について理解している。 b:標本から確率分布を見いだし、その分布から推定したり、仮説検定したりすることができる。統計的な推測の考えを問題解決に活用することができる。 c:統計における日常の事象や社会の事象などを通して、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	中間考査 期末考査 小テスト	パフォーマンス課題 中間考査 期末考査	授業観察 パフォーマンス課題 ノート 振り返りシート
		二項分布・正規分布				
		母集団と標本				
		推定・検定				
	数学ⅠA	数Ⅰ　数と式	a:問題に応じて適切な知識を選び、利用することができる。 b:条件をよく読み、必要に応じて読み替え、問題を解くことができる。 c:各分野がどのように関連するかに興味を示し、積極的に取り組もうとしている。	中間考査 期末考査 小テスト	パフォーマンス課題 中間考査 期末考査	授業観察 パフォーマンス課題 ノート 振り返りシート
		数Ⅰ　集合と命題				
		数Ⅰ　2次関数				
		数Ⅰ　図形と計量				
		数Ⅰ　データの分析				
		数A　場合の数と確率				
		数A　図形の性質				
2学期～3学期	数学ⅡBC	数Ⅱ　式と証明	a:問題に応じて適切な知識を選び、利用することができる。 b:条件をよく読み、必要に応じて読み替え、問題を解くことができる。 c:各分野がどのように関連するかに興味を示し、積極的に取り組もうとしている。	中間考査 期末考査 小テスト	パフォーマンス課題 中間考査 期末考査	授業観察 パフォーマンス課題 ノート 振り返りシート
		数Ⅱ　複素数と方程式				
		数Ⅱ　図形と方程式				
		数Ⅱ　三角関数				
		数Ⅱ　指数関数と対数関数				
		数Ⅱ　微分法と積分法				
		数B　数列				
		数B　統計的な推測				
		数C　平面上のベクトル				
		数C　空間のベクトル				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度